

診療所開設で

アフガンに救急

AMDA救護事業部長

米同時多発テロの報復攻撃を受けたアフガニスタンをめぐり、避難民の医療支援を進めている国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市櫛津）の小西司・緊急救援事業部長（三）は十二日、現地の救急地診療所開設のため出発する。

小西部長は九月下旬から十一月下旬まで、現地救急地医療の調査や巡回診療に携わった。調査の結果、パキスタン国境近くのカンダハル州マルシュ郡で、医師が一人しかいないことが分かった。このため、同所に診療所の開設を決め、建物の確保などの準備を進めていた。

来年一月中旬ごろまでに滞在し、診療所開設に取りかかるとのほか、周辺部の医療活動についても関係機関と協議する。

小西部長は「救急を支援する前に医療体制を整え、復旧機運を高めることが第一だ」と話している。